

地盤ネットホールディングス
連結決算補足説明資料

2020年3月期 第2四半期

■2020年3月期 第2四半期 決算概要

※百万円未満切捨で表示

	2019/3 2Q	2020/3 2Q	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,173	1,253	+79	+6.8%
売上総利益	570	520	△50	△8.8%
販管費	564	478	△86	△15.3%
営業利益	5	41	+36	647.5%
四半期純利益	△2	20	+23	-%

2020年3月期 第2四半期 決算概要

【売上高・売上総利益】

売上高は、住宅関連サービスの増加により前年同期比+79となりました。

業績予想1,224百万円に対しては、+29の着地となりました。

売上総利益は、前年同期比△50ではあるものの、想定より微増の着地となりました。

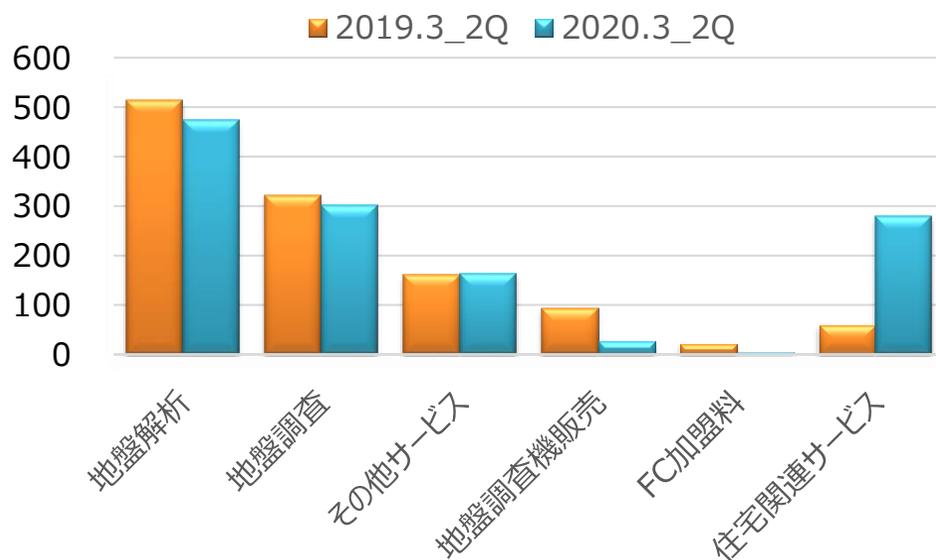
【営業利益】

ダナン支社を活用した業務改善による人件費削減、積極的な経費見直しにより、販管費を前年比△86百万円削減しました。その結果、営業利益は前年同期比+36となり、業績予想7百万円に対しては、+34の着地となりました。

■2020年3月期 第2四半期 前年同期比－サービス別売上高

※百万円未満切捨で表示

	2019/3 2Q	2020/3 2Q	前年同期比	
			増減額	増減比
地盤解析サービス	514	474	△40	△7.8%
地盤調査サービス	321	302	△18	△5.8%
その他サービス（部分転圧等）	161	163	+2	+1.4%
地盤調査機販売	94	27	△66	△70.5%
FC加盟料	22	5	△17	△77.3%
住宅関連サービス	60	279	+219	364.1%
合計	1,173	1,253	+79	+6.8%



売上高は住宅関連サービスが寄与し、前年同期比+79となりました。

■2020年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

※百万円未満切捨で表示

	2019/3 期末		2020/3 2Q		増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
資産の部	1,782	100.0%	1,837	100.0%	55
流動資産	1,505	84.4%	1,601	87.1%	95
（現金及び預金）	742	41.6%	917	49.9%	174
（受取手形及び売掛金）	306	17.2%	319	17.4%	12
（未収入金）	228	12.8%	135	7.4%	△ 92
（未成工事支出金）	17	1.0%	69	3.8%	51
固定資産	277	15.6%	236	12.9%	△ 40
負債の部	323	18.1%	404	22.0%	81
流動負債	307	17.3%	391	21.3%	83
（未成工事受入金）	68	3.8%	111	6.1%	43
固定負債	15	0.9%	13	0.7%	△ 2
純資産の部	1,459	81.9%	1,432	78.0%	△ 26
株主資本	1,456	81.7%	1,431	77.9%	△ 24
（資本金）	490	27.5%	490	26.7%	-
（資本剰余金）	22	1.2%	22	1.2%	-
（利益剰余金）	1,020	57.2%	995	54.2%	△ 24
（自己株式）	△ 76	△4.3%	△ 76	△4.2%	-
その他の包括利益累計額	△ 1	△0.1%	△ 0	△0.2%	△ 1
新株予約権	4	0.3%	4	0.2%	-

【主な資産増減】

未収入金の回収、未成工事受入金の増加による現預金の増加及び未収入金の減少

【主な負債増減】

未成工事受入金の増加（12件分）

【主な純資産増減】

配当による減少

2020年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

※百万円未満切捨で表示

	2019/3 2Q	2020/3 2Q
営業活動による キャッシュ・フロー	158	208
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 108	16
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 0	△ 49
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	48	174
現金及び現金同等物の 期首残高	711	742
現金及び現金同等物の 期末残高	759	917

営業活動CF

税金等調整前当期純利益 36

減価償却費 24

未収入金の減少 79

仕入債務の増加 16

未成工事受入金の増加 43

法人税等の還付額 13

投資活動CF

有形固定資産の取得による支出 △2

貸付による支出 △2

敷金及び保証金の回収による収入 21

財務活動CF

配当金の支払額 △45

■ 2020年3月期 連結業績予想_2019年4月1日~2020年3月31日

※百万円未満切捨で表示

	2020/3 2Q実績	2020年3月期 予想		(参考) 2019年3月期 実績	
		通期	前期比	2019.3期	前期比
売上高	1,253	2,800	14.0%	2,455	△8.2%
営業利益	41	100	180.8%	35	△55.1%
経常利益	44	100	188.9%	34	△53.5%
当期純利益	20	71	318.0%	17	△74.6%

※「重要な後発事象」で開示している台風第19号による浸水被害について、11月13日現在、被害額は調査中であるため、通期予想には反映しておりません。被害総額が判明し修正が必要となった場合に、改めて公表いたします。

2020年3月期の取り組みについて

- ・トリプル調査、トリプル補償、トリプル設計の普及
- ・地盤適合耐震住宅の普及のためのセミナー、現場見学会等のイベント開催
- ・CAD製図、BIMによる動画作成等、外部からの業務委託事業（BCPO事業）の拡大
⇒ベトナムのダナンにあるDuy Tan大学 建築学部と業務提携し、優秀な人材確保ができる体制を構築済。
- ・FC加盟店の成功事例横展開による受注拡大
- ・改良工事の適正化による補償の取込
- ・組織、役員体制の変更によるガバナンス強化

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2019年11月13日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。